



# 青き楓

島高だより  
平成24年9月号  
(通巻第78号)  
長崎県立島原高等学校  
編集:情報図書部

校長随想 湧水抄

## 「自分を磨く」について考える

校長 北浦 剛資



島高生の「S」は「Stoic」のS。「自分を磨く」について考えてみたい。

### ■継続は力なり

島高の朝は早い。一番乗りは宮崎事務長。まだ冷気に包まれた毎朝6時過ぎには出勤し、作業着に着替えて黙々と除草作業に精を出す。郷土の彫刻家北村西望氏に「たゆまざる歩みおそろしかたつむり」の句があるが、校内のあちこち、環境美化が保たれているのは、事務長に負うところが大きい。そのうち、陸上部の長距離組や減量を目指すレスリング部のアサレン(早朝練習)が始まる。顔に汗してお堀の周りを走る姿は、早朝ウォーキングの市民の皆さんにも活力を与えているのではないか。7時過ぎ、生徒会役員が国旗・校旗を揚げ、教頭二人が緑の多い玄関前の掃き掃除に出ると、前後してサッカー部や剣道部男女が三々五々ほうきを持って正門周辺に集まる。朝から40人余りが一斉に掃除する姿は壮観である。剣道部男子は、夏の玉竜旗大会で日本一になった翌朝も、何事もなかったかのようにほうきを動かしていた。また、一小側の裏門周辺ではソフトテニス部男子が、清掃活動と共に挨拶運動まで展開してくれている。かく言う私も、毎朝7時には校長室を開けている。

### ■この世に生きる者の使命

「本物は続く、続ければ本物になる」の言葉もあるが、一過性ではない地道な継続から見えてくるものは多い。路傍の植物が懸命に花を咲かそうとするように、人間もこの世に生を受けたからには、よりよい自分を目指して成長することが、それぞれに課せられた使命だと思う。楽をして手に入れたものは有り難みもなくすぐに霧と消えてしまう。「高み」に到達するには、自覚を持って不断に努力することはもとより、時にはやせ我慢も必要になる。自分に妥協すれば継続もたやすく中断できるが、それに抗うためには、誰が見ていなくとも自らを律する強さが要求される。島高生にはぜひ、専一に自らを鍛え人格を磨いて、より高次の自分を目指させたい。

## 10月 主な行事予定

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 1日(月) 1・2年中間考査①<br>3年学年末考査②        | 13日(土) 3年土曜講座<br>総文祭プレ(郷土芸能)                 |
| 2日(火) 1・2年中間考査②<br>3年学年末考査③        | 17日(水) 生活安全講話                                |
| 3日(水) 1・2年中間考査③<br>3年学年末考査④        | 20日(土) 県新人戦<br>(弓道・ソフトテニス・テニス)<br>中地区新人戦(卓球) |
| 5日(金) 地学巡検I(1年理数科)                 | 3年進研記述模試(～10月21日)                            |
| 6日(土) 3年土曜講座<br>3年中地区学習交流会(～10月8日) | 22日(月) 19時完全下校徹底週間<br>(～10月26日)              |
| 10日(水) 後期教育実習(～10月23日)             | 24日(水) 芸術鑑賞会                                 |
| 11日(木) 地学講座(1年理数科)<br>センター試験100日前  | 27日(土) 1・2年進研記述実力<br>(2年～10月28日)             |
| 12日(金) PTA研修旅行(福岡)                 | 3年県一斉模試(～10月28日)                             |



## 主な部活動成績

### ◆合唱部

長崎県高等学校音楽コンクール  
声楽部門 金賞 志岐 龍哉 水島 滉丞  
安田 さやか  
銀賞 井村 悠登 本多 愛美  
永友 秀 小堀 大智  
銅賞 松谷 優樹 早崎 玄起

ピアノA部門 銀賞 前田 将汰  
ピアノB部門 銀賞 林田 佳奈  
銅賞 荒木 優



### ◆卓球同好会

島原半島卓球大会  
一般男子シングルス 第3位 川田 舞樹

◆「社会を明るくする運動」長崎県弁論大会  
優秀賞 松島 未来



### ※先生も活躍

◆高橋 修 先生  
全国教職員相撲選手権大会  
団体 優勝 個人 5位



## 体育部 新人戦日程

- ☆弓道部男子 10/20～21 大村市弓道場
- ☆弓道部女子 10/20 大村高校弓道場 10/21 大村市弓道場
- ☆ソフトテニス部男子 10/20～22 長崎県立総合運動公園
- ☆ソフトテニス部女子 10/20～22 島原市営テニスコート、長崎県立百花台公園
- ☆テニス部男子 10/20～22 長崎市総合運動公園かきどまり、長崎北陽台高校
- ☆テニス部女子 10/20～22 長崎市総合運動公園かきどまり、長崎北陽台高校
- ☆体操部男子 11/11 長崎県立総合体育館
- ☆体操部女子 11/11 長崎県立総合体育館
- ☆剣道部男子 11/17～18 長崎東高校
- ☆剣道部女子 11/17～18 長崎東高校
- ☆レスリング部 11/17～18 島原工業高校
- ☆卓球同好会 11/17～18 大村市体育文化センター
- ☆バレーボール部男子 1/19～21 長崎市
- ☆バレーボール部女子 1/19～21 長崎市
- ☆バスケットボール部男子 1/19～21 佐世保市
- ☆バスケットボール部女子 1/19～21 佐世保市
- ☆ラグビー部 1/19～27 放虎原 他
- ☆サッカー部 1/19～27 島原市、雲仙市
- ☆駅伝(陸上部) 2/9 長崎市総合運動公園かきどまり



## 国民体育大会(ぎふ清流国体)

### 【出場選手】

- ◆レスリング部・・・松坂 誠應 佐藤 聖翔 伊藤 奨 永石 洸  
(9/30～10/3 中津川市 東美濃ふれあいセンター)
- ◆弓道部女子・・・太田 七海  
(10/6～10/8 恵那市 恵那市まきがね公園)



マスコットキャラクター「ミナモ」

選手・監督として、本校教職員も4名参加  
岩元一章先生・・・成年男子陸上(4×100mリレー)出場  
高橋修先生・・・成年男子相撲出場  
喜多龍昭先生・・・少年男子レスリング監督  
馬場祐太郎スポーツ専門員・・・成年男子レスリング出場(グレコ120キロ級)

# 文化祭



# 青楓祭2012

【体育科 岩元 一章】



炬火

# 体育祭

「Shine」～僕らの光を 今ここから～



今年度の文化祭は、8月31日(金)と9月1日(土)の2日間、本校ならびに島原文化会館にて行われました。今年のテーマは「Shine～僕らの光を 今ここから～」。仲間と協力し合い、前向きに取り組む一生懸命な姿に光のような輝きを感じる場として文化祭を生かそうという思いから、このテーマを掲げました。

オープニングではオリンピックや甲子園における人々の輝きを取り上げ、電気が作り出すものだけが光ではないことを感じるような演出でした。さらに、生徒がクラスや部活動にとっての「Shine」を言葉にする場面もあり、「みんなの笑顔」「愛情」「作品によって感動を与えることができた瞬間」といった声が聞こえました。

クラス発表では、コマ撮りされた動画、一枚一枚の写真でつくられたモザイクアート、巨大バルーンのくじらが空を飛んだり、レベルの高い作品ばかりでした。また、お化け屋敷や食物バザーも行列ができるほどの大盛況でした。文化部の発表では、常に笑いや感動を与えてくれました。日々の活動の賜だと思えます。PTAの方々は展示発表や合唱に参加して頂き、保護者の方の温かさを感じました。本当に有難うございました。

エンディングではケミカルライトを使って「栄光の架橋」を全員で歌いました。会場に一体感が生まれ、青楓祭の様子を振り返りながら、生徒は自分たちの持っている輝きに気づいてくれたのではないかと思います。この「輝き」を自信にかえ、今後の支えにしてほしいと思えます。

【生徒会指導部 鈴木 直子】

ポスター部門 展示部門	2年3組 関よしの 金賞 1年3組 銀賞 3年3組	ステージ部門 島高音楽祭グランプリ	2年6組 Shamy
----------------	------------------------------	----------------------	---------------



2013長崎総文祭のキャラクター「めいろん」も総文祭をアピール

第64回体育祭を9月9日に開催し、無事に終了することができました。8月27日の結団式からの短い期間、班長・リーダー長を中心に各班結束し、競技・応援のための準備に励み、それぞれの役割を十分に果たした活動の成果です。

当日は雨の予報でしたが、それを感じさせない絶好の秋空の下、午前9時にスタートしました。各班とも妥協せず厳しい練習を繰り返した「全校生徒による入場行進」は、高校生らしいさわやかさと堂々としたたくましさを感じさせるのに充分でした。

競技においても、学年を越えて最後まで全力で取り組む姿が感動を呼び、なかでも、男の根性(俵上げ)においては、3年生と1年生の激しいバトルが繰り広げられ、どの班が1位になるか予想のつかない展開に、応援も大変盛り上がりました。また班活動の集大成である「応援合戦」は、どの班も決められた時間の中で創意工夫し、差のつけられない優れたものでした。そして体育祭の最終種目は本校伝統の「サークル活動」。班別で競った生徒達も島原高校の仲間として一斉に肩を組み、声高らかに「島高節」「応援歌」を合唱し、自分に、仲間に、そして学校にエールを贈り、互いに母校愛を誓い合いました。閉会式では、宮崎PTA会長の音頭で万歳三唱を行い、島原高校の更なる飛躍を祈念し体育祭を終了しました。

〈終わりに〉この体育祭での準備から終了までの取り組みが、生徒一人一人にとって大きなプラスになったものと確信します。保護者の皆様、本校近隣の皆様、ご声援、ご協力ありがとうございました。



息を合わせて

競技の部優勝班 6班 班長 渡邊 賢人 リーダー長 吉岡 将也

高校生活最後の体育祭で、優勝という最高の結果で終わることができてとても良かったです。優勝という目標に向かって必死に取り組むことができ、先生方や自分たちを支えてくれた方々のお陰で充実した体育祭になり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

競技の部優勝という言葉が聞こえたときには、思わずガッツポーズをして喜びました。本当に1年生から3年生までが一つとなり、団結した証だと思いました。自分たちに必死についてきてくれた1・2年生、指導して下さった先生方には心から感謝したいと思います。

応援の部優勝班 4班 班長 寺井 晋幸 リーダー長 荒木 拓仁

体育祭では各班、1年生から3年生まで合わせて百名近くの人數で自分一人ではとてもまとめることができませんでした。しかし、クラスの仲間のサポートや無理を言ってもついてきてくれた後輩たちのお陰でもとてもいい思い出ができました。ありがとうございました。

4班全員で掴み取った優勝だったと思います。青楓祭のテーマ"Shine"のように110名全員が輝いていました。班長を中心にうまくまとまったいい雰囲気でも体育祭を迎え、競技の部は惜しくも3位でしたが、夏の最高の思い出を作れたと思います。みんな、本当にありがとう!!

